

- 製品の仕様、付属品およびデザインは予告なく変更する場合があります。記載内容は2024年11月現在のものです。

映像監視ソフトウェア WV-ASM300UX, WV-ASM300WUX 機能拡張ソフトウェア WV-ASE202WUX, WV-ASE203WUX, WV-ASE205WUX, WV-ASE307WUX, WV-ASE333WUX

■概要

映像監視ソフトウェア WV-ASM300UX シリーズ（以下、本ソフトウェア）は LAN（Local Area Network：以下、ネットワーク）に接続された、複数台（各機器の登録数については「仕様」をお読みください。）の弊社およびパナソニック コネクト製ネットワークディスクレコーダー、デジタルディスクレコーダー（以下、レコーダー）および、ネットワークビデオエンコーダー（以下、エンコーダー）、ネットワークカメラ（以下、カメラ）、ネットワークマイク（以下マイク）を統合管理し、Microsoft Windows 上で動作するソフトウェアです。

対応機器については、本ソフトウェアに付属の「WV-ASM300UX 取扱説明書（VideoSurveillanceSoftware_jp.chm）」の「1.5.対応機器一覧」をお読みください。

本ソフトウェアを使用して、カメラ画像を遠隔のパーソナルコンピューター（以下、PC）のモニターに表示したり、レコーダーに録画されている画像を PC から操作し、PC のモニターで再生したり、PC のハードディスクにダウンロードできます。

※本ソフトウェアは、次の3種類のソフトウェアで構成されます。

本体ソフトウェア : ライブ画像の表示、レコーダーに録画されている画像のダウンロードや再生操作、検索、カメラ操作が可能です。
また、本体ソフトウェアを使用するための設定および設定データの管理、レコーダーやカメラの機器設定を行います。

ダウンロードソフトウェア : レコーダーに録画されている画像のダウンロードを制御します。

サービスソフトウェア : DB のアクセス、独自アラーム通知の受信、操作ログの自動削除、レコーダーからの録画情報取得、各種サービスソフトウェアの管理を行います。PC 起動時に起動し、常駐プログラムとして動作します。

WV-ASM300WUX は商品に DVD-ROM が付属されません。仕様は WV-ASM300UX と同等です。

WV-ASE202UX/203UX/205UX と WV-ASE202WUX/203WUX/205WUX は同一のものです。

（本文では、WV-ASE202UX/203UX/205UX と表記しています）。

※Microsoft、Windows、Edge、およびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Intel、Intel Core は、アメリカ合衆国および／またはその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。

※Google および Google Chrome は Google LLC の商標です。

※Firefox は、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の商標です。

※その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ システム概要

モニター構成：1～3画面

・接続可能機器（弊社およびパナソニック コネクト製のみ）

機器	対応伝送方式
ネットワークカメラ 取扱説明書（VideoSurveillanceSoftware_jp.chm）をお読みください。	M-JPEG ユニキャスト MPEG-4 ユニキャスト
エンコーダー DG-NT304, DG-NT314, DG-GXE500, WJ-GXE500, DG-GXE100, WJ-GXE100	MPEG-4 マルチキャスト H.264 ユニキャスト
ネットワークディスクレコーダー※1 DG-ND300A, WJ-ND300, DG-ND200, DG-ND400, WJ-ND400K, DG-ND400K, DG-NV200 シリーズ, WJ-NV250 シリーズ, WJ-NV300 シリーズ, WJ-NX100 シ リーズ, WJ-NX200 シリーズ, WJ-NX300 シリーズ, WJ-NX400 シリーズ, WJ-NU101 シリーズ, WJ-NU201 シリーズ, WJ-NU300 シリーズ, WJ-NU301 シ リーズ WJ-NX310 シリーズ, WJ-NX410 シリーズ, WJ-NX510 シリーズ	H.264 マルチキャスト H.265 ユニキャスト H.265 マルチキャスト
デジタルディスクレコーダー WJ-HD350, WJ-HD309	WJ-HD300 独自方式
デジタルディスクレコーダー WJ-HD616, WJ-HD616K, WJ-HD716, WJ-HD716K	H.264

※1：AXIS 社製カメラ、PCC 社製カメラは、レコーダー経由で配信された映像のみの表示となります。

・描画性能

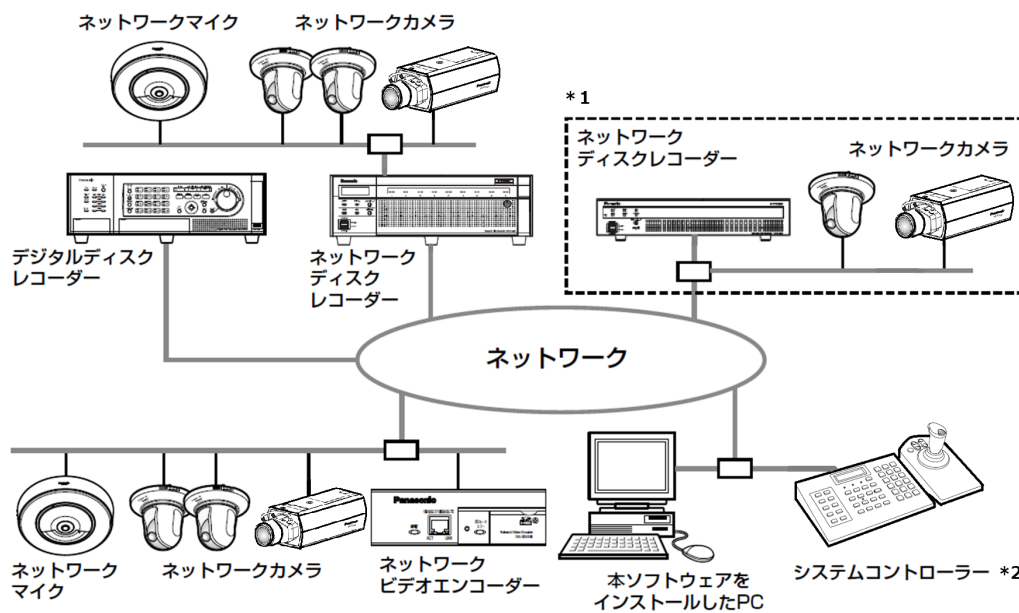
伝送方式	システム上限値（PC 1 台あたり）
M-JPEG	VGA：160 ips
MPEG-4	VGA：ビットレート 32 Mbps※2
H.264	VGA：ビットレート 20 Mbps(20 画/SF/ 30fps)※3
H.265	VGA：ビットレート 20 Mbps(20 画/SF/ 30fps)※4
WJ-HD300 独自方式	15 ips

※2：カメラ一台あたりのビットレート設定は、最大 2 Mbps としてください。

※3：カメラ一台あたりのビットレート設定は、最大 14 Mbps としてください。

※4：カメラ一台あたりのビットレート設定は、最大 16 Mbps としてください。

■ システム構成図



*1：点線で囲まれた構成にすると、レコーダーに接続されているカメラの画像を、レコーダーを経由せずに直接見ることができず。その場合、以下の項目を確認・設定してください。

- レコーダーにカメラを登録する。
- レコーダーは1ポートで運用する。

*2：システムコントローラーは別途購入する必要があります。

■運用

機能拡張ソフトウェア（別売り）のライセンスを追加登録すると以下の機能が追加されます。

WV-ASE202UX（別売り）

ライブモニターの25/36/49/64分割が可能となります。（ただし再生は16画まで）

ライブモニターの25/36/49/64画グループが追加されます。（ただしシーケンスは16画まで）

ライブモニターを4台まで使用可能となります。（トータル68画面）

WV-ASE203UX（別売り）

レコーダー、エンコーダー、カメラ、マイクの最大登録件数をそれぞれ100台、64台、256台、256台の単位で拡張できます。

WV-ASE205UX（別売り）

悪天候（降雪、降雨など）、照度不足、逆光等の視認性阻害要因をデジタル画像処理で抑制し、見やすい映像を生成することができます。

WV-ASE307WUX（別売り）

レコーダー、カメラから受信したアラームの一覧表示、詳細情報の登録、ファイル出力、検索、削除をすることができます。

WV-ASE333WUX（別売り）

本ソフトウェアへネットワーク経由でCGIコマンドを送信し、本ソフトウェアの一部の機能を遠隔操作することが可能になります。

●本体ソフトウェア

情報表示機能

ステータス表示	接続機器の名称及びステータス情報を表示します。
---------	-------------------------

カメラ選択機能

ツリーからの映像選択	カメラ一覧ツリーから任意のカメラを選択し、ライブ映像を表示します。
グループ選択	グループリストから任意のグループを選択し、ライブ映像を単画・多画面分割して表示します。

シーケンス機能

シーケンスライブ映像表	あらかじめ登録した任意のカメラ映像を単画・多画面分割で繰り返し表示します。
-------------	---------------------------------------

カメラ制御

選択中カメラの制御	選択されているカメラの制御を行います。カメラ制御は単純後取優先となります。
制御項目	ズーム（ワイド）、ズーム（テレ）、フォーカス（遠）、フォーカス（近）、フォーカス（オート）、自動モード操作、パン・チルト操作、明るさ（-）、明るさ（+）、明るさ（標準）、プリセット動作、プリセット登録、AUX制御

レコーダー制御

再生映像表示	任意の録画映像の再生制御を行います。再生は、操作モニターで行います。
録画イベント検索	録画イベント、日時、カメラによる録画データの検索を行います。検索キーは、①レコーダー&カメラ、②グループ、③マップの3種類です。
レコーダー制御	映像を表示しているレコーダーの制御を行います。
制御項目	再生、逆再生、高速再生、高速逆再生、スキップ、逆スキップ、停止、一時停止、コマ送り、逆コマ送り、ジャンプ、逆ジャンプ、録画開始・停止、テキスト
ダウンロード	レコーダーの録画映像をPCへダウンロードします。

音声

受話	カメラの音声をPCに出力します。（PCで聞く）
送話	PCから音声をカメラに出力します。（PCから話す）

アラーム連動（レコーダーに入力されたアラーム発報時のシステム連動＝独自アラームを使用）

ブザー鳴動	アラーム発生時にブザー（音声ファイル）を鳴動します。
ポップアップ表示	アラーム発生時に、アラームメッセージをポップアップ表示します。
アラーム映像表示	アラーム発生時に該当するカメラのライブ映像をライブモニターに表示します。
マップへのアラーム表示	マップ上の該当カメラのアイコンを赤色に点滅表示します。
アラームログ管理	受信したアラームをアラームログに残します。

アラームログ連携再生	アラームログのクリック操作で、プレ再生を行います。
------------	---------------------------

障害連動(レコーダーからの独自アラームを使用)

ブザー鳴動	障害発生時にブザー (音声ファイル) を鳴動します。
ポップアップ表示	障害発生時に、障害メッセージをポップアップ表示します。
マップへの障害表示	マップ上の該当カメラのアイコンを障害表示に変更します。
障害ログ管理	受信した障害情報をアラームログに残します。

静止画保存

静止画保存	1画の場合、表示しているライブ/再生映像をJPEGまたはBMP画像として保存します。
-------	--

印刷

印刷	1画の場合、表示しているライブ/再生映像を印刷します。
----	-----------------------------

コントローラー

コントローラー対応	WV(DG)-CU950、WV-CU980を使用して、カメラ制御および再生制御を行います。カメラ番号、グループ番号、シーケンス番号を設定しておく、WV(DG)-CU950およびWV-CU980からカメラ選択、グループ選択、シーケンス選択ができます。
制御項目	アラームリセット、シーケンス、シーケンス停止、最新画像、AUX制御、再生制御、録画、カメラ制御、プリセット制御/登録カメラ選択、グループ選択、シーケンス選択

マルチモニター表示

マルチモニター	操作モニター、ライブモニター、マップモニターを使用し、最大3台のディスプレイ構成にすることができます。
---------	---

マップモニター

マップからの映像選択	マップ上の任意のカメラアイコンを選択し、ライブ映像を表示します。
------------	----------------------------------

ユーザー管理

ユーザー認証	本ソフトウェア起動時にID・パスワードによるユーザー認証を行います。起動中にログアウト(ユーザー切替)ができます。
表示可能カメラ	ユーザーごとにカメラを見る権限を設定できます。権限のないカメラは画面上に表示されません。
操作ログ管理	ユーザーの操作をログとして管理します。
パスワード期限	パスワードに有効期限を設定できます。期限切れユーザーに対しては、ログイン時にメッセージ通知を行い、パスワード変更を促します。
レベル設定	ユーザーごとにレベルを設定して、操作を制限できます。

レコーダーログ

レコーダーログ取得	レコーダーからログを取得し、表示/保存できます。 ログの種類: 障害ログ、アクセスログ、イベントログ、ネットワークログ
-----------	--

機器設定—登録

簡単設定	同一ネットワーク内のカメラ、レコーダーを検出、自動割付し、レコーダーにカメラを登録します。
詳細設定	カメラやレコーダーの解像度やビットレート、録画設定など詳細設定を行います。

■仕様

レコーダー登録数	最大 100 台
エンコーダー登録数	最大 64 台
カメラ登録数	最大 256 台
マイク登録数	最大 256 台
ユーザー登録数	最大 32 名
ユーザーレベル数	6 レベル
グループ登録数	最大 400 グループ
シーケンス登録数	最大 20 件 (シーケンス 1 件につき最大 64 ステップ登録可能)
マップ登録数	最大 100 枚

	(マップ1枚につき最大128台のカメラ、最大20枚のマップが配置可能。登録可能なファイルサイズは10MB未満。登録可能なファイルの種類はJPEG、BMP、PNG)
アラームログ登録件数 (表示件数)	最大 30000 件 (最大 1000 件)
機器障害ログ登録件数 (表示件数)	最大 1000 件 (最大 1000 件)
ネットワーク障害ログ登録件数 (表示件数)	最大 1000 件 (最大 1000 件)
システムログ登録件数 (表示件数)	最大 1000 件 (最大 1000 件)
操作ログ登録件数 (表示件数)	最大 100000 件 (最大 1000 件)
検索件数	最大 1000 件 (VMD 検索は最大 200 件)
ダウンロードキューイング数	最大 10000 件

- 1台のレコーダーに接続可能なPCの台数は、以下の表のように、接続機器の種類やライブモニターを使用する/使用しないによって異なります。
- 操作モニターとライブモニターの合計数が、ライブモニターを使用しない場合の最大接続台数以下であれば、PCは接続可能となります。

機器	ライブモニターを1つ使用する場合のPCの最大接続台数	ライブモニターを使用しない場合のPCの最大接続台数
WJ-HD350, HD309 ^{※3}	2台 ^{※1}	3台 ^{※2}
WJ-HD616, WJ-HD616K, WJ-HD716, WJ-HD716K	4台	8台
DG-ND200	2台	4台
DG-ND300A, WJ-ND300	4台	6台
DG-ND400, DG-ND400K, WJ-ND400K	8台	16台
DG-NV200 シリーズ	1台	1台
WJ-NV250 シリーズ	2台	4台
WJ-NV300 シリーズ	4台	8台
WJ-NX100 シリーズ ^{※4}	8台	16台
WJ-NX200 シリーズ ^{※4}	8台	16台
WJ-NX300 シリーズ ^{※4}	8台	16台
WJ-NX400 シリーズ ^{※4}	8台	16台
WJ-NU101 シリーズ ^{※4}	8台	16台
WJ-NU201 シリーズ ^{※4}	8台	16台
WJ-NU300 シリーズ ^{※4}	8台	16台
WJ-NU301 シリーズ ^{※4}	8台	16台
WJ-NX310 シリーズ ^{※4}	8台	16台
WJ-NX410 シリーズ ^{※4}	8台	16台
WJ-NX510 シリーズ ^{※4}	8台	16台

※1: 16画または9画表示を行う場合は接続可能なPCの台数は1台になります。

※2: 16画表示を行う場合は接続可能なPCの台数は2台になります。

※3: 次の条件でレコーダーとの接続が切れ、黒画が表示される場合があります。

● イベント録画+シーケンス運用の場合

● 1台あたりのHD300に対する全体ライブレートが15 ips以上の場合

※4: 「ライブ取得先/カメラ」の設定にすることで、ライブモニター使用時でもライブモニターをユーザー数にカウントしません。

- ウェブブラウザによるアクセスやFTP接続によりユーザー数が超過すると、レコーダーとの接続が切れ、黒画が表示される場合があります。
- 機能拡張ソフトウェア (WV-ASE203UX (別売り)) のライセンスを追加することにより、レコーダー、エンコーダー、カメラ、マイクの最大登録件数をそれぞれ 100 台、64 台、256 台、256 台の単位で拡張できます
なお、本ライセンスは最大 4 つまで登録することが可能です。

■ 付属品

DVD-ROM 1 式[※] 起動情報案内カード 1 枚
 インストールガイド 1 冊[※]
[※]WV-ASM300WUX には付属していません

■PC 環境

《重要!! PC を用意される際にご注意ください》

- ・以下の PC 環境は本ソフトウェアが単独で動作するために必要な一般的なシステム環境を記載したものであり、すべての PC での動作を保証するものではありません。
- ・追加アプリご使用の場合は、追加アプリの取扱説明書参照の上、必要な環境をご用意ください。
- ・使用する PC のユーザーアカウントに 2 バイト文字（全角文字）が使用されていると、本ソフトウェアのインストール時に必要なファイルがインストールされず、正常に運用できません。ユーザーアカウントは必ず半角英数字を使用してください。

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つ PC にインストールできます。

OS ※1	Microsoft Windows 11 Pro 64 ビット日本語版※2※3 ・ Version 21H2 (OS build 22000)以上 Microsoft Windows 10 Pro 64 ビット日本語版※2※3 ・ Version 1909 (OS build 18363)以上
.NET Framework ※1	.NET Framework 4.8 以上
CPU	Intel® Core™ i5 - 7500 以上 Intel® Core™ i7 - 7700 以上※4 Core i7 推奨条件： 49/64 画面使用時、3M 以外の全方位ネットワークカメラ使用時、画像鮮明化機能の使用時、Full HD を超える解像度使用時、画像圧縮方式 H.265 カメラ使用時
メモリー	16 GB(8 GB x 2 枚)以上※5
グラフィック アクセラレーター	VRAM512 MB 以上(最低 256 MB 以上)で DirectX® 9.0c 以上の機能を持つもの ライブモニターの使用時：NVIDIA NVS 510、NVIDIA Quadro P1000、NVIDIA T1000、NVIDIA RTX A1000※6 画像鮮明化機能の使用時：NVIDIA GeForce GTX 660 以上（ドライバーソフトは GeForce 332.21 以降を推奨）、NVIDIA Quadro P1000、NVIDIA T1000、NVIDIA RTX A1000※7※8 画像鮮明化機能(2048×1536 以上)使用時：NVIDIA GeForce GTX 770 以上、NVIDIA Quadro P1000、NVIDIA T1000 4K モニター使用時：NVIDIA NVS510、NVIDIA Quadro P1000（ディスプレイポートケーブル使用）、NVIDIA T1000（ディスプレイポートケーブル使用）、NVIDIA RTX A1000※9※10
DVD-ROM ドライブ	本ソフトウェアのインストール時に必要（WV-ASM300WUX の場合は不要）
ハードディスク容量	3 GB 程度必要※11
画面	1280×800 ピクセル以上の解像度（ライブモニターは 1920×1080 ピクセルの解像度を推奨）、True color 24 ビット以上（フルカラー環境を推奨）
インターフェース	100/1000 Mbps のネットワークポートを有すること※12
ウェブブラウザ ※13	Microsoft Edge Chromium 版 ※14 Google Chrome™ ※14 Mozilla Firefox ※14

※1：本ソフトウェアは、Microsoft Windows 10、Microsoft Windows 11のデフォルトのスタイル、およびフォントサイズでデザインされています。すべてのディスプレイ設定の[テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する]を100%に設定してください。設定していない場合、本ソフトウェアを正しく表示できない場合があります。

ただし、コンバーチブル型タブレットPC（ノートPCの機能とタブレットPCの機能を両方搭載したPC）等において、デフォルトのフォントサイズが中で設定されている機種の場合につきましては、フォントサイズを小に変更のうえご使用ください。

定期的にWindows Updateの更新を実施し、Windowsを最新の状態にしてください。

※2：Microsoft Windows10、Microsoft Windows11で使用する場合、注意事項など詳しくは、取扱説明書をお読みください。

※3：WOW64（32ビット互換モード）で動作します。

※4：Xeon®などサーバー向けのCPUは除きます。

※5：デュアルチャンネル対応のメモリーを使用し、同じ性能のメモリーを2枚1組で使用することを推奨します。メモリー1枚で使用した場合、以下の場合に映像表示性能が低下することがあります。

- ・ 画像表示方法が拡大縮小モードの場合
- ・ ライブモニターを使用した場合

※6：ライブモニター、画像鮮明化機能を使用されない場合は、PCのオンボードグラフィックをご使用ください。

※7：画像鮮明化機能を使用する場合には、お使いのビデオカードに対応した電源ユニットをご用意ください。

※8：画像鮮明化機能を使用する場合には、複数枚のビデオカードを使用しないでください。

- ※9: ディスプレイポートケーブルを使用している場合、ケーブルの性質上、モニター電源のオン / オフ時に一時的にモニターが認識されなくなる現象が発生します。この現象が発生した時は、操作モニター、ライブモニターなどのウィンドウ位置が変更する可能性があります。
- ※10: QSVを使用する場合は、Intel HD Graphicsのバージョンが21.20.15.4528以上であることを確認してください。最新ドライバーは以下のURLから入手可能です。お使いのCPUに合わせたドライバーをダウンロードし、PCにインストールください。
URL : <https://downloadcenter.intel.com/ja>
- ※11: 本ソフトウェアのインストールとは別に、レコーダーからダウンロードした画像の保存先、データベースの保存先として使用するためのハードディスク容量を用意する必要があります。
- ※12: PCのネットワーク設定は、お客様のネットワーク環境にあわせて設定していただく必要があります。また、複数のネットワークインターフェースカードを用いて本ソフトウェアを使用した場合の動作は保証いたしません。
- ※13: 接続する機器により実際のサポートしているウェブブラウザのバージョンや制限事項が異なります。詳しくは各機器の取扱説明書をお読みください。
- ※14: Internet Explorerに非対応機器のWebページを表示する際に使用します。
Microsoft Edgeは、Internet Explorerに対応している機器のWebページを表示する際にも使用します。
ブラウザの対応状況については、以下のウェブサイトを参照ください。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information

《重要》

- 本ソフトウェアのインストールは、「コンピューターの管理者」権限のあるユーザーが行ってください。管理者以外のユーザーがインストールした場合の動作は保証いたしません。
- リモートデスクトップ上での動作は保証いたしません。
- 本ソフトウェアの実行中（起動中および終了中を含む）は PC のログオフおよびシャットダウンを行ったり、不意の電源断等が発生したりしないようにしてください。動作が不安定になったり、データが初期化されたりすることがあります。
- 複数のアプリケーションと同時に本ソフトウェアを動作させた場合、CPU やメモリーなどの資源不足により、動作が不安定になることがあります。
- サウンドカードがないと、アラーム発生時および障害発生時に音が鳴りません。また、送受話が正常に動作しません。
- 本ソフトウェアを使用する場合は、スリープモードに移行しないように PC を設定してください。
- 既に本ソフトウェアをインストールした状態で Windows 8.1 から Windows 10 にアップデートした場合、正常に動作しません。
- 対応 OS やハードウェア、サポート終了などの最新情報については、以下に掲載されている検証情報をご確認ください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information

- HDD 暗号化などのハードディスクアクセスに変更を与えるアプリケーションと同時に使用した場合、性能低下を招く恐れがあります。運用に支障がある場合は、これらのソフトウェアとは同時に使用しないでください。
- 本製品は、Windows OS 上で動作するアプリケーションです。安定的な稼働を行うため、定期的に PC を再起動してください。なお、PC の再起動を行う前に本ソフトウェアを終了してください。本ソフトウェアを終了せずに PC を再起動した場合、OS などの問題により次回本ソフトウェア起動時にユーザー認証設定がオンにも関わらずオートログインしてしまう場合があります。
- マルチディスプレイ使用時、PC 再起動後に操作モニター以外のモニターの表示位置が自動的に変更される場合があります。その場合は手動で任意の位置に変更してください。
- 複数枚のビデオカードを使用する場合は、Microsoft Windows 10 Pro 64 bit または Microsoft Windows 11 Pro 64 bit をご使用ください。
- ビデオカードを装着する際は、PC の拡張スロットの構造が適切であることを確認してください。
- 複数枚のビデオカードを使用する場合は、同一モデルのビデオカードをご使用ください。また、PC に接続する HDD や他の接続機器などを含めた消費電力が収まる電源容量の PC または電源ユニットをご用意ください。

<32 ビット OS 使用時の制約>

WV-ASM300UX やカメラの機能アップに伴い、以下のような制約事項が生じたため 32 ビット OS を対応 OS から外しました。ご使用される場合は以下の内容をご留意ください。

- 物理メモリーは、OS として 4GB までしか認識されません。
メモリー容量が少ないことで一部の映像が表示されなくなることがあります。
その場合は、PC を再起動してください。
- グラフィックアクセラレーターは 1 枚しか追加できません。
1 枚の場合、最大 4 つのモニターまでの接続となります。
- H.265 の圧縮方式に対応したカメラは、使用できません。
該当カメラを H.264 の圧縮方式に設定して使用することもできません。
- ライブモニターを使用する場合、圧縮方式を H.264、解像度を QVGA に設定する必要があります。
- 25 画以上を使用する場合は、解像度を QVGA に設定する必要があります。